

最終発表

サービスラーニング オードテラス小学校



2016年12月6日
アデリア・ホーニック
デビッド・バス
鳥飼 絵美
メルヴィン・メイソン

目次

活動報告

活動場所・時間

活動内容

SLアウトカム

1. 自己と社会意識
2. サービスと社会的責任
3. コミュニティと社会公正
4. 多文化的なコミュニティ建築と市民の約束

活動報告

場所：シーサイド市

オードテラス小学校

期間：9月7日から11月14日まで

毎週月曜日



活動報告

活動内容

宿題の手伝い

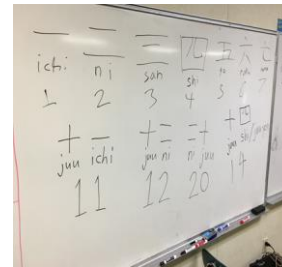
日本語のクラス

- 教室でのルール
- 基本的な挨拶の言葉

カタカナで名前を書くこと

数字

お箸の使い方



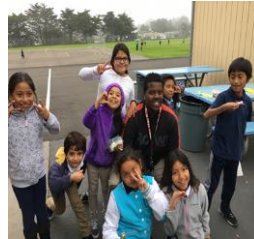
活動報告

活動内容

- おりがみ
- おにぎり
- かごめの歌
- 日本の季節
- かごめ、じゃんけん列車



さよならパーティー



1: 自己と社会意識

アイデンティティ:

生徒は自分たちの文化について議論し、
それを日本の文化と比べる

e.g.日本の四季と生徒たちの四季



1: 自己と社会意識

疎外と社会的特権:

CPYはすべての子供を平等に扱い、
疎外を防いでいる
生徒達は教育の平等な機会がある



1: 自己と社会意識

ステレオタイプ:

子どもたちに日本語と日本文化を教えることで、彼らは他の文化が持つ価値観を学び、偏見のない姿勢を持つようになる

e.g. 食事の違い



2: サービスと社会的責任

- 外国語を学ぶ機会
世界へ目を向ける
ワールドシチズン（世界市民）の一員として

- 教えることの重要性
家族と情報を共有する

共有（きょうゆう） = share



2: サービスと社会的責任

短期的なゴール :

放課後に宿題を手伝うこと

日本語と日本の文化を教えること

→社会から取り残されてギャングに入ることをふせぐ



長期的なゴール :

外国語を学ぶこと

→生徒達の生涯学習を促進する

→将来の選択肢を増やす

放課後 (ほうかご) = after school

生涯学習 (しょうがいがくしゅう) = lifelong learning

促進 (そくしん) = promote

選択肢 (せんたくし) = alternative

2: サービスと社会的責任

生徒ひとりひとりと彼らの個人としてのふるまいや行動

- 人種 ≠ 個人の行動
家族環境⇒個人の行動

CPYのミッション

→生徒たちに良い例を設定する

環境（かんきょう） = environment

支援（しえん） = support

適応（てきおう） = adjust, adapt



3: コミュニティと社会公正

コミュニティスキャンから...

多くの家族が労働者階級

→彼らにとって必要なもの

食事の補助

教育機会

労働者階級（ろうどうしゃかいきゅう）

= working class

補助（ほじょ） = support



3: コミュニティと社会公正

1. 食事

- 無料か割引された昼ごはん
- CPYが配る健康的なごはん



2. 平等な教育機会

- 宿題の手伝い
- 日本語クラスの実施



実施（じっし）=perform

3: コミュニティと社会公正

CPYが食事の補助や教育機会を提供

平等に食事をとることができる

学ぶことの楽しさ、大切さを知る

教育は将来を豊かにする

⇒より豊かなコミュニティ形成に貢献

子どもたちを育て、未来のコミュニティを育てる



4: 多文化的なコミュニティ建築と市民の約束

a)

ステレオタイプを避け、文化的な配慮をしてコミュニケーションをした。

安全な学習環境を生徒に提供した。

b)

自尊心と自信を持たせるために、生徒に個人に注意を向けた。

環境（かんきょう） environment

提供（ていきょう） offer

自尊心（じそんしん） self-esteem



4: 多文化的なコミュニティ建築と市民の約束

より多くの生徒を混ぜ合わせるために、教室の中で散らばるようにした。これは疎外を防いだ。

- c) CPYは、放課後プログラムが始まる前に生徒たちにCPYの信条を復唱させた。

混ぜ合わせる（まぜあわせる）to mix, to blend

散らばる（ちらばる）to be scattered about

疎外（そがい）alienation

防いだ（ふせいだ）to prevent

信条（しんじょう）creed, belief

復唱（ふくしょう）repeat an order, recital



4: 多文化的なコミュニティ建築と市民の約束

私たちは、生徒を通して生徒の両親
に示す教室学習の例を提供した。
これは、教育に対するより良い態
度を促進した。



この経験から学んだ事

デビッド

アデリア

絵美

メルヴィン

デビット

社会公平を学んだ

将来は私は低所得の社会を手伝う

サービスラーニングはコミュニティが持つ問題を明らかにしてくれる

サービスラーニングは協力

アデリア

先生の立場の大変さを分かった。

グループでの活動は大変だが、逆に困ったとき、お互いに助け合い、うまくいく。

生徒達が、まだ幼いころにはまだ開いた心があり、新しい情報を容易に吸収し、固定観念を防ぐのを助ける。

SLの目的は、日本語を教えるだけではなく、教えると共に四つのアウトカムをつなぐことです

容易（ようい） = easy

吸収（きゅうしゅう） = absorb

固定観念（こていかんねん） = stereotype

絵美

日本語サービスラーニングがもたらすもの

文化の平等性の理解とステレオタイプの排除⇒グローバルシチズン

教えることの大変さ

授業計画を考えること、時間管理

正しい知識を教えること

排除（はいじょ）=eliminate

もたらす=provide

ステレオタイプの形成（けいせい）

=form a stereotype

防ぐ（ふせ・ぐ）=prevent

メルヴィン

日本でも韓国でも台湾でも英語の先生の仕事にサービラーニングの経験に関連した。

先生の仕事はとても忙しかった。少し難しかった。時々大変だった。

有効な教え方を調べる事、授業の準備、レッスンプランを作ること、クラスコントロールの方法。

ステレオタイプすることが分かった。ポジティブでもネガティブでも良くない。

「fixing」、「helping」、「serving」という意味が違うか分かった。

生徒に教える適当な方法習った。たくさん復習すること。よく手で楽しい活動をする事。